

國學院大學経済学部

2次募集

令和3年(2021年)度開講

『演習Ⅰ』(ゼミ)

募集要項

対象：経済学部2年生



※演習Ⅰに関するお知らせは大学HP上でも確認して下さい。

國學院大學 経済学部 教務委員会

① 2次選考 受付ゼミ一覧

「演習Ⅰ」2次選考募集状況一覧		
教員名	募集状況	2次選考 募集人数目安
安達有祐	募集人数に達したため締切ました	
小木曾道夫	2次募集を行います	10名程度
大西祥恵	2次募集を行います	10名程度
尾近裕幸	2次募集を行います	10名程度
尾崎麻弥子	2次募集を行います	5名程度
尾田基	募集人数に達したため締切ました	
小野正人	募集人数に達したため締切ました	
金子良太	2次募集を行います	3名以下
紺野由希子	募集人数に達したため締切ました	
櫻井潤	募集人数に達したため締切ました	
東海林孝一	2次募集を行います	10名程度
杉山里枝	2次募集を行います	10名程度
高木康順	2次募集を行います	10名程度
高橋克秀	2次募集を行います	10名程度
田原裕子	募集人数に達したため締切ました	
中泉真樹	2次募集を行います	10名程度
中田有祐	2次募集を行います	5名程度
根岸毅宏	募集人数に達したため締切ました	
野村一夫	2次募集を行います	10名程度
橋元秀一	2次募集を行います	10名程度
藤山圭	2次募集を行います	10名程度
星野広和	募集人数に達したため締切ました	
細井長	2次募集を行います	10名程度
水無田気流	募集人数に達したため締切ました	
宮下雄治	募集人数に達したため締切ました	
山本健太	2次募集を行います	10名程度

② 選考方法

2次選考について

- ・すでに提出した第2希望と第3希望のうち、どちらか1つの選考（大学が指定）となります。
- ・第2希望と第3希望の演習のどちらか、あるいはどちらも1次選考で締め切っている場合、変更してください。
- ・第2希望と第3希望の演習のどちらも1次選考で締め切っていない場合、原則、修正することが出来ません。
- ・応募者の偏りを小さくするよう、第2希望と第3希望で調整（マッチング）します（GPAと修得単位数を参考にします）
- ・第2希望と第3希望のうち、どちらか1つの演習をK-SMAPYIIでお知らせします。その後、指定された演習の課題を作成してください。
- ・各教員から選考日時や課題の提出に関して連絡があります。
- ・2次選考より新規で登録を希望する場合、第1希望と第2希望を選択してください。

教員が指定する学科・コース

- ・各ゼミで受け入れる教員により、受け入れる学科やコースが指定されています。経済学科のみのコースを指定している演習には、経営学科の学生は応募できません。また、経営学科のコースのみを指定している演習には、経済学科の学生は応募できません。

注) ゼミに合格した後に、教員が指定 (○) するコースのうちどれか1つを選択することになります。

令和3年度経済学部「演習Ⅰ」(ゼミ) 募集予定 教員一覧

令和3年3月現在

教員氏名	教員の専門分野	経済学科					経営学科			コース指定なし
		経済理論とデータ分析コース	経済史コース	地域経済コース	日本経済コース	グローバル経済コース	ビジネスリーダーコース	ビジネスクリエイターコース	ビジネスアナリストコース	
安達 有祐	都市経済、地域経済	○		○					○	
大西 祥恵	労働経済・社会政策			○	○			○		
小木曾 道夫	組織、自己生産	○						○	○	
尾近 裕幸	オーストリア学派経済学、ミクロ経済学									○
尾崎 麻弥子	西洋経済史		○			○			○	
尾田 基	イノベーション論	○						○	○	
小野 正人	新事業創造、ベンチャービジネス				○			○	○	
金子 良太	財務会計・公会計			○			○		○	
紺野 由希子	企業財務	○					○		○	
櫻井 潤	地方財政論			○	○		○			
東海林 孝一	管理会計	○					○		○	
杉山 里枝	日本経済史		○		○		○			
高木 康順	ミクロ経済、マクロ経済、計量経済	○								
高橋 克秀	グローバル経済論、データサイエンス									○
田原 裕子	地域政策と社会保障			○	○		○			
中泉 真樹	応用ミクロ経済、医療経済、産業組織	○						○	○	
中田 有祐	財務会計、国際会計	○					○		○	
根岸 毅宏	財政学、福祉国家財政、租税論			○	○		○			
野村 一夫	メディア論、知識理論							○		
橋元 秀一	日本経済、労働経済、人事労務管理、労使関係			○	○		○			
藤山 圭	経営戦略論	○						○	○	
星野 広和	経営管理論、経営学史		○				○		○	
細井 長	国際経済、国際経営					○	○			
水無田 気流	文化社会学、ジェンダー論			○	○			○		
宮下 雄治	マーケティング論					○		○	○	
山本 健太	経済地理			○	○	○				

〔注1〕 応募は第1希望から第3希望まで3つの演習を選択できます。

〔注2〕 経済学科のコースのみを指定 (○が付いている) している教員の演習には、経営学科の学生は応募できません。同じく、経営学科のコースのみを選択している教員の演習には、経済学科の学生は応募できません。

〔注3〕 演習に合格した際は、教員が指定 (○) するコースのいずれかを選択することが条件となります (上記「コース指定なし」の演習を除く)。

③ 選考スケジュール

★二次選考スケジュール★

■ 修正期間 **6月3日(木) 18:00 ~6月7日(月) 23:59**

*希望する演習(第2、第3希望)の修正が可能。

■ 演習の指定(大学からの連絡) **6月11日(金)**

■ 選考期間 **6月15日(火)~6月21日(月)**

■ 合格発表 **6月23日(水)** K-SMAPY IIにて発表(20:00発表予定)

★三次選考スケジュール★

- 応募期間 **6月24日(木)～6月29日(火)**
(K-SMAPY II のアンケート機能より応募)
- 演習の指定 (大学からの連絡) **7月2日(金)**
- 選考期間 **7月6日(火)～7月12日(月)**
- 合格発表 **7月14日(水)** K-SMAPY II にて発表 (20:00 発表予定)

3次選考について

- ・ 期間をあらため (7月)、再度、第1希望から第3希望まで選択。
- ・ 応募者の偏りを小さくするよう、第1希望から第3希望のなかで調整 (マッチング) します (GPA と修得単位数を参考にします)

④ 2次選考 応募ゼミの提出課題			
教員名	面接/試験日時	提出課題詳細	提出方法
大西 祥恵	■教員より 個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容: 労働市場において不利な立場にある人たちについて、テーマとしたい内容を報告してもらいます。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
尾近 裕幸	■教員より 個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容: 以下の4つです。 (1) 1年次の学びの証である「成績表」の写しを提出してください。 (2) 池田晶子『14 歳からの哲学』の第 27 章・第 28 章「人生の意味」を読み、あなた自身の「人生の意味」についての考えを 200 字程度で説明してください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ

		<p>(3)2021年4月8日付『日本経済新聞』朝刊記事「強い会社は『学びの場』」を読み、著者の主張を100字以内で要約してください。記事は5月17日にK-SMAPY IIで配信しています。</p> <p>(4)2020年5月11日付『日本経済新聞』朝刊記事「AI時代のスキルの見極めを」を読み、著者の主張を100字以内で要約してください。記事は5月17日にK-SMAPY IIで配信しています。</p>	
尾崎 麻弥子	■教員より 個別に連絡	<p>(1) 自己紹介 (200字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容:最近関心を持った事柄に関する新書(岩波新書、中公新書 etc)を1冊読み、その内容の要約と感想(1500字程度)を書いたレポートを提出。(ワード形式、書式自由)</p>	<p>K-SMAPY II 「アカウント機能」 (1) (2)のみ</p>
小木曾 道夫	■教員より 個別に連絡	<p>(1) 自己紹介 (200字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※ogiso@kokugakuin.ac.jp宛てメールの本文で提出 課題内容:小木曾担当の3年次「演習II」を履修した場合の研究テーマ案を全角16字以内で書く。</p>	<p>K-SMAPY II 「アカウント機能」 (1) (2)のみ</p>
金子 良太	■教員より 個別に連絡	<p>(1) 自己紹介 (200字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容:(1)日商簿記検定の合格証書のコピーを面談時に提出してください(合格歴がない方は不要) (2)1年次のGPAを証明できる書類のコピーを面談時に提出してください(3)1年次GPA2.9未満の方は経済・経営・会計に関する新書(2019年以降に発表されたもの)1冊を自由に選んで、その内容で特に印象に残った点を中心に1200字以上でまとめなさい。(1年次GPA2.9以上の方は(3)の課題は不要です)</p>	<p>K-SMAPY II 「アカウント機能」 (1) (2)のみ</p>
東海林 孝一	■教員より 個別に連絡	<p>(1) 自己紹介 (200字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容:「管理会計」とは何か、具体的な内容に言及して800字程度にまとめて下さい。</p>	<p>K-SMAPY II 「アカウント機能」 (1) (2)のみ</p>

杉山 里枝	■教員より 個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容: 明治期から現代にかけての日本の企業家の中で関心のある人物を 1 名選び、400~800 字程度でまとめてください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
高木 康順	■教員より 個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (なし)	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
高橋 克秀	■教員より 個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容: 興味のあるデータを持参すること (どんな分野でもよい。形式自由)	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
中泉 真樹	■教員より 個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) 6 月 11 日に、2 次選考を受ける学生へ K-SMAPY II で「2021 年度演習 1 中泉ゼミ独自課題」を配信します。それにしたがってリポートをご提出ください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ (3) は「2021 年度演習 1 中泉ゼミ独自課題」の指示にしたがってご提出ください。
中田 有祐	■教員より 個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容: 企業の出来事や会計・財務・経営関連の事柄をテーマとしたニュース/新聞記事/雑誌記事を 1 つ取り上げ、考察を示してください。(400~800 字、記事の概要は不要だが、記事の URL 等を示すこと。)	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
野村 一夫	■教員より 個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (なし)	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
橋元 秀一	5 月 29 日(土)3・4 限を予定 詳細は、教員より個別に連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (なし)	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ

藤山 圭	■教員より 個別に連絡	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容: 研究したい企業・業界について簡単にまとめてください(企業名や業界名だけでなく、そこでどのような興味深い現象が起きていて、それを解明することでどのような知見が得られるのか、といったことをエッセイ形式で 400~1000 字くらいで書いてください)</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アンケート機能」</p> <p>(1) (2) のみ</p> <p>教員任意課題は word 形式でまとめたものをメールで提出</p> <p>k.fujiyama@kokugakuin.ac.jp</p>
細井 長	■教員より 個別に連絡	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※事前にメールで提出 課題内容: ゼミ紹介の本文に詳細を書いています</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アンケート機能」</p> <p>(1) (2) のみ</p>
山本 健太	■教員より 個別に連絡	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容: 実家のある地域の名物や有名な祭りなどを 1 つ取り上げ、それがなぜその地域で起こり、発展してきたのか、地域の気象条件や歴史的過程など、関連する様々な観点を交えて理由を説明せよ。引用文献のあるものは、引用箇所がわかるようにし、引用文献リストを付すこと。参考文献リストを付す必要はない。</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アンケート機能」</p> <p>(1) (2) のみ</p>

【注意点】

- ※1 〆切りを過ぎたものは一切受理しないので注意すること。
- ※2 教員により (3) の任意課題が異なるのでよく確認すること。
- ※3 必ず K-SMAPY II の「アンケート」で自己紹介、希望のゼミを登録、志望動機を記入して下さい。課題のみを提出しても無効となります。

教員の連絡先一覧

教員名	メールアドレス	備考
大西 祥恵	yoshie-o_at_kokugakuin.ac.jp	
小木曾 道夫	ogiso_at_kokugakuin.ac.jp	
尾近 裕幸	okon_at_kokugakuin.ac.jp	
尾崎 麻弥子	mayaozaki_at_kokugakuin.ac.jp	
金子 良太	rkaneko_at_kokugakuin.ac.jp	
東海林 孝一	shoji_at_kokugakuin.ac.jp	
杉山 里枝	rishii_at_kokugakuin.ac.jp	
高木 康順	takagi_at_kokugakuin.ac.jp	
高橋 克秀	taka8664_at_kokugakuin.ac.jp	
中泉 真樹	nmaki_at_kokugakuin.ac.jp	
中田 有祐	nakata_yusuke_at_kokugakuin.ac.jp	
野村 一夫	R707FF_at_kokugakuin.ac.jp	
橋元 秀一	hsyu_at_kokugakuin.ac.jp	
藤山 圭	k.fujiyama_at_kokugakuin.ac.jp	
細井 長	hosonaga_at_kokugakuin.ac.jp	
山本 健太	kenta_at_kokugakuin.ac.jp	

※_at_は「@」に置き換えてください。

募集ゼミ内容紹介

先生方にゼミのご紹介をしていただくにあたって、以下の質問項目について伺いました。

(※該当する項目のみ、回答していただいております。)

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	

- (1) テーマ
- (2) キーワード
- (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)
- (4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細 (枚数や時期など)
- (5) 先輩たちの主な就職先と傾向
- (6) 教員について(自己紹介等)
- (7) その他

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A		
コンピュータと情報	基礎演習 B		

3年(男)	3人	3年(女)	1人	4年(男)	8人	4年(女)	3人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

(1) テーマ

「労働」について、どのようなイメージをもっていますか？ 「労働は商品ではない」とは、1944年5月にILO (International Labour Organization, 国際労働機関) で採択されたフィラデルフィア宣言のなかの一文です。労働は経済学のなかで取りあげられる要素の1つですが、人を扱う点で他と異なっており、そのためにさまざまなルールが設けられています。

人は労働を通して社会とつながることも多く、労働がどういう状況にあるのかという点はその人の生活にも関係してきます。例えば、仕事が不安定なものであれば生活にも影響がでますし、仕事を失えば失業問題に直面します。

ゼミではこうしたことについて、もっとも厳しい状況に追いやられがちな社会的に立場の不利な人たちの視点から捉え、どうしていけばいいかについて議論していきたいと思います。そのためこのゼミで充実した学びを得ようとするのであれば、社会の問題に高い関心をもっている必要があります。(大学生の就職活動のスキルについて研究する場ではありません。そうした点については講義科目やキャリア・サポート課の取り組みに参加して学んでいただければと思います。)

(2) キーワード

キーワードとしては、「労働」、「失業」、「社会政策」、「貧困」、「社会的排除」、「マイノリティ」などが挙げられます。とりわけ、ふだん見過ごされてしまいがちなさまざまな実態や課題に着目することを通して、社会の現実に迫りたいと思います。

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミへの応募をされる場合、原則として以下に書かれているゼミでの学修に参加することに合意したものとみなします。合意されない場合、ゼミへの応募はご遠慮ください。

勉強以外にも大切なことはたくさんありますが、とはいえ勉強も大切ですので、ゼミでの学修を希望されるなら、勉強に多くの時間をさいていただくことになります。

「講義型科目の履修」

教員が担当している講義型の科目は、3年生以上を対象として開講されています。そのため、3年生以上の段階で、「労働経済」、「雇用と社会政策」を可能でしたら履修していただければと思います。

「演習Ⅰ」(2年生後期)

文献などの課題をゼミ生で分担して報告してもらい、それを受けてのディスカッションを行います。ゼミでの勉強が1人で行う勉強と違うのは、ゼミ生同士での話し合いを通して初めて気づかされることがあったり、1人ではいきつかなかったかもしれない結論にたどりついたりすることではないでしょうか。ゼミでの勉強を通して自身のテーマを決め、それについて調べたことをレポートにして提出してもらいます。また、社会の現実について学ぶために、フィールド・ワークを行うことがあります。

「春合宿」(2年生から3年生にかけての春休み、スプセではありません)

提出してもらったレポートをもとにお互いに報告し、それを受けてのディスカッションを行います。また、フィールド・ワークを行います。

「演習Ⅱ」(3年生通年)

前半は、春合宿でのディスカッションを受けて自身のテーマについてさらに調べたことを、ゼミで報告してもらいます。そしてどういう問いを立てて研究を深めていけばいいのかについて、ディスカッションを行います。

後半は、前半に立てた問いに対してご自身の見解を報告してもらい、ディスカッションで議論を深めたうえで、どのような結論を導くのかを検討します。それをレポートにして、提出してもらいます。また、社会の現実について学ぶために、フィールド・ワークを行うことがあります。

「春合宿」(3年生から4年生にかけての春休み、スプセではありません)

提出してもらったレポートをもとにお互いに報告し、それを受けてのディスカッションを行います。また、フィールド・ワークを行います。

「演習Ⅲ」(4年生通年)、「演習Ⅳ」(4年生後期)

自身の研究について論理的に結論を導き出していくよう、さらに検討を加えていきます。そしてそれを卒業論文にまとめていきます。大学ならではの学びの過程だと思っています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

提出締切：1月下旬、2年後期「演習Ⅰ」2000字以上、3年「演習Ⅱ」4000字以上

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

先輩たちの就職先としてIT関係、運輸、不動産、販売、保険、メーカー、公的法人などがあります。とくに傾向があるわけではありませんが、それぞれに自身の将来のことを真剣に考えて進路を決定していました。就職にかんしては、実際に働いてみないとわからないことがあることを理解したうえで、大学を卒業する時点では、自身はどうしたいのかを考える必要があります。そのためにまずは自身につ

いてできるだけ客観的にとらえることと、社会にはどのような活躍の場があるのか（おそらくまだまだ知らないことが、たくさんあるのではないのでしょうか？）をしっかりと学ぶのが大事なように思います。

(6) 教員について(自己紹介等)

大学2年生のとき、社会の現実にかかわる仕事をしたいと思って研究職をめざしました。

小木曾 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
－	－	－	－	－

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	－	－
コンピュータと情 報	基礎演習 B	－	－

3年(男)	3人	3年(女)	3人	4年(男)	0人	4年(女)	0人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

(1) テーマ

組織と集合行動の自己生産

(2) キーワード

組織、集合行動、自己生産

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期の「演習Ⅰ」では、バーナード著 山本安次郎・田杉競・飯野春樹訳(1968)『新訳 経営者の役割』ダイヤモンド社、の、のちの組織研究に影響を与えた部分を選んでの精読する文献購読演習を行う。「演習Ⅰ」の到達目標は文献購読報告ができ、文献購読レポートが書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートで他者が著作権を持つ文字列を引用できること、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行年・3.書名・4.出版社を正確に記述できることを含む。

3年通年の「演習Ⅱ」と4年通年の「演習Ⅲ」では各自研究テーマを決めて、研究課題は、(外部の組織から受動的に与えられるのではなく、)ゲーム以外のテーマから受講者が自ら能動的に決定して、研究演習を行う。「演習Ⅱ」の到達目標は研究報告ができ研究論文が書けるようになること、「演習Ⅲ」の到達目標は、社会科学の研究論文が書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行 or 更新年(月日)・3.書名 or タイトル・4.出版社 or URL を正確に記述できること、および、報告およびレポートで、5.自分の意見や考え・または・著作権者を特定できない情報と、他者が著作権を持つ情報とを区別し、6.他者が著作権を持つ情報の出典を引用または参照という方法で巻末の参考文献リストと照合して明記すること、を含む。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

「演習Ⅰ」では学年末締切で字数自由の文献購読レポート

「演習Ⅱ」では前期と後期に研究レポートを課し、字数のペース配分目標はⅡの前期が 4000 字、後期が 8000 字

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

業種の傾向はありません。過去、北関東地域の実家から通勤可能な勤務地限定の職掌への就職希望者は 100%就職が決まっています。

(6) 教員について(自己紹介等)

2020 年度は国内派遣だったため、2021 年度で4年のゼミ生はいません。

<http://www2.kokugakuin.ac.jp/~ogiso/index.html> 教員について

小木曾はゲームについて無知であるため、ゲームを研究テーマとしたい学生に対して、十分な論文指導ができません。

(7) その他

小木曾ゼミは、研究成果であるゼミ卒業論文の質を分子、(ともに実施しないゼミ合宿とサブゼミを含む)拘束時間を分母とする、研究成果労働生産性が高いゼミです。過去の4年生のゼミ卒業論文・ゼミ論などは<http://www2.kokugakuin.ac.jp/ogi1/index.html> >ゼミ HPを参照してください。

尾近 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	ミクロ経済学	マクロ経済学
コンピュータと情報	基礎演習 B	経済理論入門	経済経営数学

3年(男)	6人	3年(女)	0人	4年(男)	0人	4年(女)	3人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

(1) テーマ

経済・経営問題の分析手法としてのマルチエージェント・シミュレーション技法とミクロ経済学を学び研究する——
NetLogo & ミクロ経済学の学習と研究論文の作成——（シラバスを参照してください）

「NetLogo」はマルチエージェント・シミュレーションのためのプラットフォーム（アプリケーション）で、無償でダウンロードできます（ダウンロードの仕方から指導します）。

上記に加えて汎用のプログラミング言語の Python と統計学の基本を学び、Python を使って、NetLogo モデルのシミュレーションからアウトプットされるデータの統計分析を行います。昨年度は Python のオンライン・プログラミングコンテストに何回も参加しました。

また、NetLogo モデルのコードをゼミ生全員で協力しながら作成しますので、プログラムのコードの変更履歴（変更差分）記録する分散型バージョン管理システムである Git と GitHub を使えるように勉強します。

本年度は「できるだけアウトプットをする」ことを目標に、レポート・リサーチペーパー・研究ノート・研究論文の作成に向けた指導をします。まずは「具体的な研究・研究課題」の発見と設定、それを研究活動を支える知識・技法の習得を支援します。

習得する知識・技法は、これからの社会での仕事に役立つものばかりです。今よりも少し先の近未来で必要になるスキルと知識の習得を目指します。

(2) キーワード

ミクロ経済学、マルチエージェント・シミュレーション、NetLogo, Python, 統計学, データサイエンス, Git, GitHub

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミでは、基本的に以下の2つの文献をテキストにしてマルチエージェント・シミュレーション技法と、それを用いた経済分析の手法を学びます。詳しくはシラバスを参照してください。英文ですが

解説しながら進めるので、努力する気持ちがあれば、英語に自信がなくても大丈夫です。これ以外の勉強にも積極的に取り組みます。

* Steven F. Railsback and Volker Grim, *Agent-Based and Individual-Based Modeling: A Practical Introduction*, second edition, Princeton and Oxford: Princeton University Press, 2019. (書名和訳 : エージェント・ベースのモデル分析入門)

- Lynne Hamill and Nigel Gilbert, *Agent-Based Modeling in Economics*, Wiley, 2016.
(書名和訳 : エージェント・ベース・モデルを使った経済分析入門)

また、Python と統計学の学習 (独習) には以下の文献をテキストにします。

- コーリー・アルソフ 『独学プログラマー -Python 言語の基本から仕事のやり方まで』 日経 BP 社, 2018 年。
- 小島寛之 『完全独習 統計学入門』ダイヤモンド社, 2006 年。

今年度の合宿は未定ですが、状況が好転すれば3年生と4年生の合同合宿を実施して、NetLogo に使った研究やPython を使ったプログラミング・コンテスト出場の準備、統計学・R・ゲーム理論の学習をしたいと考えています。

なお、2年生、3年生、4年生は、それぞれ夏休み期間中に2日間、冬休み中に1日間、春休み中に2日間の集中勉強会 (渋谷キャンパス) を実施します。

なお昨年度は以下の活動・集中勉強会を行いました。

(1) 10月22日-24日アメリカ・イエール大学で開催された研究学会 The First Conference on Zero/Minimal Intelligence Agents に、ゼミ生全員でオンライン参加しました。

<https://www.ziconference.net>

今年度も同じテーマで開催される以下の学会にオンラインで参加予定です。参加前に基本文献とMASシミュレーションを紹介して、全員で事前勉強して参加します。英語の聞き取り練習と国際学会の雰囲気を楽しみます。

The Second Conference on Zero/Minimal Intelligence Agents
October 21-23, 2021

<https://view.message.yale.edu/?qs=c0fcea28de5c0a46062558eee63716281d2a48bd6cd649910239c9f3396f52efae99f74e420f3e14823ef4bfd1c32d0a18184d44d3ae6b9c61f3ce6506507810f3e0cb4079d085e509b64c1a73aa6ea3>

(2) AtCoder 主催の競技プログラミング・コンテストにほぼ毎週、全部で20回以上参加しました。
<https://atcoder.jp>

(3) 無料で学べるオンライン講座 gacco で以下の講座をゼミ生全員が受講しました。
<https://gacco.org>

・はじめての AI

- ・大学生のためのデータサイエンス (I)
- ・大学生のためのデータサイエンス (II) 機械学習
- ・大学生のためのデータサイエンス (III) 問題解決
- ・新年度は 4 月から「統計学 I」を、5 月から「機械学習」あるいは「社会人のためのデータサイエンス」のいずれかを受講して勉強を続けています。

(4) 以下の 2 つのテキストで「ゲーム理論」の基礎を学びました。

- ・鎌田雄一郎 『16 歳からはじめてのゲーム理論』ダイヤモンド社
- ・神取道宏 『ミクロ経済学の力』第 II 部 日本評論社

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細 (枚数や時期など)

3 年次・4 年次にリサーチ・ペーパー (研究論文) を作成します。

3 年次のリサーチ・ペーパーは、研究の仕方からペーパーの書き方までを指導します。

4 年次のリサーチ・ペーパーは、研究テーマの設定からペーパーの完成までを指導します。

昨年度卒業生 6 名の研究論文のタイトルは以下の通りです。

- ・カーズナー・プロセスの MAS 分析—2 財モデルへの拡張と機敏性の重要性
- ・マルチエージェント・シミュレーションを用いた渋滞発生に関する研究
- ・ABM による新型コロナウイルスの感染拡大モデルと適切な接触率の解明
- ・シェアリングの分居モデルの拡張について
- ・新型コロナウイルス感染のマルチエージェント・シミュレーション分析
- ・ダイナミック・プライシングの MAS 分析

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

令和元年度 (129 期) 卒業生の主な就職先は以下の通り。

- ・みずほリース株式会社
- ・リコージャパン株式会社

(6) 教員について(自己紹介等)

専門分野：オーストリア学派経済学

Editorial Advisory Board of *Quarterly Journal of Austrian Economics*

Associate Editor of *The Review of Austrian Economics*

國學院大學着任：1998 (平成 10) 年 4 月 1 日

担当教科：経済理論入門、ミクロ経済学、基礎演習 A、基礎演習 B、演習 1、演習 2、演習 3

TOEIC L&R 880 (毎年受験しています。)

AtCoder Rating 最高値 118-11 級 (ほぼ毎週コンテストに参加しています。)

(7) メッセージ

「ミクロ経済学」や「マルチエージェント・シミュレーション」と聞くと、「とても敷居が高い」と感じるかもしれませんが、実際は楽しく、「様々な研究や、卒業後の仕事に役立つ」知識・技法です。

礼儀正しく、快活明朗で、自分自身を成長させたいと本気で考えている学生だけを希望します。

尾崎 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済史入門
コンピュータと情報	基礎演習 B	

3 年男	7 人	3 年女	4 人	4 年男	9 人	4 年女	3 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

西洋（ヨーロッパ、アメリカ）の広い意味での経済（経済活動にまつることすべて。生産・流通・消費）から歴史的な視点で我々の今の生活を見直す。

(2) キーワード

ヨーロッパ、アメリカ、歴史、世界、経済

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

はじめに各人が興味のあるテーマを事前に考えてもらいます（仮というか何となくの関心で構いません）。テーマ自体は歴史的なものでも現代のものでも構いませんが、現代のものを選んだ方もできるだけ歴史的な視点から見るようにということを考えてください。調べる熱意があれば特に詳しい知識は必要ありませんが、日本史・世界史のかなりおおまかな流れは頭に入っていたほうが良いです。2 年時にはそれに関するディベート、ディスカッションをおこない、並行して卒論に関する説明と注意点について話し合い、論文の書き方について勉強します。3 年時にはそのテーマについてさらに討論し、夏休み前から本格的に卒論執筆に入ってもらいます。3 年生ではほぼ卒論完成という状態にしておいて、4 年生の就職活動に臨んでください（面接などで役に立ちます）。下の学年のゼミにも参加してもらうことがあるので、来年度以降のことですが、ゼミの曜日には後ろにアルバイトなどを入れないようにしてください。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

卒業論文の準備として 3 年生である程度の形を決めてもらいます。。4 年の前半は就職活動で頭がいっぱいになるので、むしろ 3 年生のうちに書き上げるくらいの勢いで準備します。本来経済史とは歴史的な一次史料を使用し研究をするものですが、日本でそれをやるのは大変難しいので、基本的には文献やインターネットから拾えるデータなどを利用することになります。テーマは基本的には欧米の歴史（20 世紀などの近い歴史でも OK です）に限られますが、強い熱意があればそれ以外でも可にしています（ただしその場合できる指導には限りがあります。）ただしレポートではないので、つねに「なぜ EU は現在うまくいかなかったのか」などの（少しテーマが大きすぎますが）疑問点を最初に提示して、それについて複数の文献を使って「分析」を行ってください。直接データを使用して分析できればなおいいです。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融のゼミ→金融関係 のように直結する学問ではないので個人の力量と関心によってかなり差があります。金融・保険・不動産・地方公務員・交通・流通・食品関係・アパレルなどまさに経済活動にわたるものはなんでもというところがあります。卒論のテーマと関連したところに就職している人が多い印象があります。志望業界を限定はしませんが、貫性を持つことが大切だと思います。実際に教員になった人はまだいませんが、高校教員免許取得率がわりと高いです。教育実習の時期は、ゼミをお休みにしてありますので教員志望の方も大丈夫です。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門はスイス・フランス国境地域の経済史です。趣味は映画や舞台などを見ることです。ゼミの関心に応じて、ゼミの時間に欧米経済史に関連する映画を鑑賞して感想を話し合ったりなども時々しています。飲み会はゼミ生の希望にもよりますが、多い年は1か月に1回、少ないときは学期に2, 3回やっていました。事態によりますが本年度は Zoom やラインチャットでのヴァーチャルお茶会や飲み会も計画したいと思います。一見おっとりして見られがちですが、報告の内容などには結構突っ込みます。

(7) その他

ゼミは人数が少ないので、どのような態度で臨んでいるかは教員だけではなく他のゼミ生にもすぐにわかります。本当にほかにもやりたいことや事情があってなんとか両立したいのか、単に手を抜きたいのかすぐにわかります。出席回数や発言回数といった形式的なことだけではなく(もちろんそこに現れては来ますが)、自分の適性とどう貢献ができるかを考えたうえで誠実に参加してくれることを望みます。



金子 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	財務会計（現在履修中であることが望ましい）	
コンピュータと情報	基礎演習 B		

3年男	8人	3年女	2人	4年男	3人	4年女	4人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

会計の視点から企業・自治体・NPOの経営を学ぶ

(2) キーワード

読書、財務会計、公会計、Fintech、B to B、B to C、経営分析、卒業論文

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミは、新聞、本や雑誌をたくさん読みます。インターネット以外から多くの情報を得る技術を身につけます。会計は経済や経営と密接にかかわります。同級生・先輩や後輩と話し合うことで内容に対する理解を深め、自分の考えを持ち、的確に表現できるようになります。

2年生はまず、企業の財務諸表や最近のニュースを事前に調査し、レポート作成や討論をします(2021年夏は、合宿は実施しない予定)。9月には、ビジネス会計検定3級以上を受験します。2年後期・スプセは、様々な新聞・雑誌記事や有価証券報告書を参照してグループで企業を分析し、プレゼンを行います。11月には、日商簿記検定3級以上を受験します。他のゼミとの合同ゼミも予定しています。授業では、ゼミの学習につながる「公会計」の授業を受講します(受講は3年でも可)。

授業で知識をインプット→ゼミでは読書等を通じてさらに知識を深める→プレゼン等を通じて発信力を高める という流れです。ゼミと授業の両輪で成り立っています。

3年生では、読書や財務諸表の分析、他ゼミとの合同の討論等を通じて理解を深めます。後期には、プレゼン大会等へ参加するための学習を行います。他大学の学生との交流等も含めて貴重な体験ができますし、就職活動にも役立ちます。このほか、「のびのび経済」にグループ論文を投稿します。授業は、前期には「応用財務会計」を、後期には「国際会計」「企業監査」を受講していただきます。

4年生では、より専門的な書籍や論文を読み、各自で卒業論文をまとめていきます。また2・3年生への指導や合同ゼミ・ディベートも行います。

2年半を通じて、「私はこれをしてきた」と自信をもって言えるような、貴重な体験ができるゼミにしていきたいです。皆さんの負担を軽くすることを心がけ、ゼミは学年ごと、週1コマです。ただしゼミへの事前準備には毎週2~5時間程度はかかりますし、大会や論文の締切前にはゼミが延長さ

れることもあります。しかし、そのくらい学習して「勉強した、身についた」ということができます。また、ゼミでは皆さんが発表・話し合いするのが中心で、他の授業とは進め方や方針が異なります。

ゼミでは、ビジネス会計検定3級以上と日商簿記検定3級以上の合格が必須です。授業時間外に本や新聞・雑誌記事をたくさん読みますので、アルバイトが週24時間以上など十分な学習時間を確保できない方は、入ゼミをお勧めしません。

公認会計士試験や公務員試験を受験する方は、しっかり学習して進捗度を報告いただくことを条件として、ゼミの課題を軽減しています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3年後期の「のびのび経済」や、プレゼン大会でも15000字前後のグループ論文を書きます。1000字前後のレポートが、定期的に課されます。本をよく読む方や文章を書くのが嫌いでない方は難しくこなしますが、そうでない方には、大いに努力が必要です。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

先輩たちの就職状況は、良好です。先輩や企業人事の方にも、ゼミの内容を評価していただいています。平成29年度の卒業生では東京都特別区へ3名就職し、これまでも県庁・市役所等の公務員を数多く輩出しています。税理士事務所に勤務する人もいます。最近、メーカーの営業や経理も増えています。ゼミでは、就職した先輩や会社の方を招いたりする機会も多く設けています。

(6) 教員について(自己紹介等)

オンラインの講義が多く、教員や他の学生、先輩と会う機会が限られているため、ゼミ選択にあたって不安なことがたくさんあるかと思います。ブログ <http://blog.livedoor.jp/kanekosemi/> では適宜情報を更新していきますので、よく参照してください。個別の質問については rkaneko@kokugakuin.ac.jp までお気軽にどうぞ。また、金曜日昼休みには若木タワー10階1004研究室にて対面での質問も受け付けております。

(7) その他

教員の専門は公会計ですので、財務会計だけでなく政府や非営利組織の会計も学習します。公務員志望者も歓迎です。飲み会は最低限ですが、新歓・OBOG会・追いコンはあります（新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されない可能性もあります）。いずれもとても貴重な経験であり、全員出席です。ゼミに向くのは ①読書が好きな人②成績が良い人（1年のGPA2.7以上）③数学・英語といった基礎学力がしっかりしている人（本を読んだり各種分析を行うため）④通常の授業が物足りなくて、大変でも充実した内容を求める人 ⑤早寝早起きがしっかりできる人 ⑥自らの考えを発表する学習がむりなく楽しくできる人です。

ゼミの選考（筆記試験+面接）の倍率はここ3年1.0～1.2倍程度です（第2次選考は、昨年度はありました）。オンライン面接では、会計に関する基本的な知識を問うほか、皆さんの学習意欲や今後の学習計画を、提出された課題（共通課題+教員が個別に設定した課題）等に基づいて15分程度（教員と応募者との1対1の面接です）。皆さんの応募をお待ちしています。



東海林孝一 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	簿記と財務報告 B
コンピュータと情報	基礎演習 B	財務会計

3年男	9人	3年女	5人	4年男	3人	4年女	11人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----

(1) テーマ 会計の目で企業を見よう

東海林ゼミでは管理会計について研究します。まず、会計学は財務会計と管理会計に大きく2分類することができます。財務会計は企業の利害関係者（株主や債権者、従業員等）に企業の財政状態や経営成績等に関する情報をどのように開示するかを研究する領域です。

管理会計とは、企業がもっと合理的に経営するため、必要な会計理論や技法のことを言います。なお管理会計には予算管理と原価計算という2つの領域があり、ゼミでは主に予算管理を中心に管理会計全般を学びます。

新型コロナウイルスによって、世界の経済、日本の経済は大打撃を受け、大恐慌以来の大不況が到来すると言われています。当然、企業経営にも深刻な影響があり、すでに倒産する企業も出始めました。管理会計で学ぶ知識は企業経営にとって非常に重要な必須の知識です。例えば損益分岐点分析（黒字になるために必要な売上高の計算や、赤字にならないためには売上高の減少をどの程度までに抑えなければならないか）や資金予算（日々の資金繰りや設備投資資金に関する予算）等は就職してからすぐに役立つ知識です。また「値引きをして販売数量を伸ばすべきなのか、それとも販売数量が減っても値上げをして利益率を改善すべきなのか」といった企業戦略を策定するときに、管理会計は欠かすことができません。深夜はお客の減ることが明らかなのにコンビニが24時間開店しているのも、マクドナルドでポテトやドリンクがセットされているメニューが割安なのも、管理会計の理論や技法を理解すると簡単に理解することができます。

(2) キーワード ①ゼミこそ大学 ②自分の可能性への挑戦 ③考えて行動する

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

①演習Ⅰ（2年次後期）

演習Ⅰの内容は会計学の基礎である財務会計について、各自テーマごとにレジメを作り発表してもらいます。名を私のゼミでは一定水準になってから発表が認められます。よって発表水準に達していないと判断された場合は、何度でも作り直しを命じられます。ここでの訓練が演習Ⅱで生かされます。

②演習Ⅱ（3年次通年）

活動基準原価計算、マテリアルフローコスト会計、スループット会計など管理会計の主要な理論や技法について、テーマごとにレジメを作り発表してもらいます。文献検索、データの収集能力が求められます。なお3年次終了までに

日本商工会議所簿記検定2級を合格してもらいます。不合格の場合は4年次の演習Ⅲが自動的にD評価になります。

③演習Ⅲ（4年次通年）

演習Ⅱで培った管理会計の理論や技法をもとに、各自が選んだ卒論のテーマに沿って、順次発表してもらいます。

→（4）参照

④演習Ⅰ（サマーセミナー）、演習Ⅰ（スプリングセミナー）、演習Ⅱ（サマーセミナー）、演習Ⅱ（スプリングセミナー）、演習Ⅲ（サマーセミナー）ではマネジメントゲームを用いたアクティブラーニングを行います。4人1組で売価原価の異なる3種類の商品を売買して、決算書を作成して業績を競い、株主総会で決算承認と取締役の選解任をします。4年生や3年生は販売戦略の立案や長期借入や増資などの資金計画の立案、経営を行い、2年生は入金伝票、出金伝票の処理、金銭出納帳、仕入帳、売上帳、商品有高帳の記帳処理を担当します。また予算編成、予算差異分析も行います。

ここまで順次説明したよう、演習Ⅰ～Ⅲは理論や事例の研究、演習Ⅰ（サマーセミナー）から演習Ⅲ（サマーセミナー）までの合宿での集中授業は、ビジネスゲームを用いたアクティブラーニングになりますので、それぞれが連携しています。従って全て出席することが原則になります。事前の許可を得ずに欠席するとゼミを辞めてもらいます。就職活動といえども例外ではありません。

（4）卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習Ⅲの最終授業時に卒業論文を提出してもらいます。テーマは企業経営や会計理論・実務に関わるものであれば、自由に選択できます。20,000字以上の卒業論文の提出が4年次の単位認定条件です。

（5）先輩たちの主な就職先と傾向

メーカーの営業や経理の比率が過半数で、金融機関（三井住友銀行、みずほ銀行、群馬銀行、長野銀行、山陰合同銀行等や公務員（国土交通省、前橋市役所、坂戸市役所、国税専門官、財務専門官、消防士）などがいます。具体的な企業名を挙げると、アサヒ、NTTドコモ、いすゞ自動車、伊藤園、キューピー、NEC、新日鐵住金、東洋製罐、タカラスタンダード、ブリhton、ローソン、理研ビタミン、三菱食品、東洋エレクトロンなどです。税理士は10人以上います。科目合格者も20人は超えています。公認会計士、米国公認会計士もおります。また税理士志望のための大学院在籍者は3人。変わり種では、歯科医師（開業医）、市議会議員もゼミの卒業生にはおります。

（6）教員について(自己紹介等)

國學院大學経済学部卒業後、横浜市立大学商学部大学院修士課程を修了（経営学修士）し、青山学院大学経営学研究科博士後期課程を経て現在に至ります。横浜ベイスターズとお酒が大好きです。硬式野球部長でもあります。昔、学生につけられたあだ名は「明るいオタク」でした。

（7）その他

オフィスアワーや公開ゼミに来て何でも質問して下さい。



杉山 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		○

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済史の基礎
コンピュータと情報	基礎演習 B	

3年男	10人	3年女	4人	4年男	人	4年女	人
-----	-----	-----	----	-----	---	-----	---

(1) テーマ

日本経済と企業経営についての歴史的研究

(2) キーワード

経済史、経営史、企業家史

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

普通のゼミでは、歴史上の出来事や企業家についてテーマを決めて、発表と議論を行っていきます。サマーセミナーでは、資料館や博物館など歴史についてわかることのできる施設に向向く予定です。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

とくにありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融(証券、銀行)、商社、サービス、メーカー、コンサル、音楽、航空、など幅広い業種に就職しています。今年の卒業生は大手に決まった人も多かったです。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門は日本経済史、経営史です。鉄道史・電力業史・織物業史・財閥史といった産業・企業に関するものから、渋沢栄一・岩崎弥太郎といった企業家に関するものまでひろく経済史・経営史に関する研究を行っています。2019-2020の期間、ハーバード大学ライシャワー日本研究所において在外研究を行い、現在、比較経営史研究にも取り組んでいます。大学時代には2つのゼミ(ミクロ経済学と経済史)に所属していました。そのため、経済の「歴史と今」を結び付けて研究することを志向しています。

(7) その他

在外研究から戻り、2020年秋からの復帰となったため、現在、3年生14名(男子10名、女子4名)のみで活動を行っています。昨年卒業したゼミ生は18名(男子9名、女子9名)でした。どの代もゼミ生の仲はよく、和気あいあいとした雰囲気の中でゼミが行われています。歴史上の事象や企業家についての学習は、なかなか独学で行う機会は少ないかと思いますが、ゼミでの学習をつづけてそれらの知識を得、歴史から得られる教訓を今後の活動に活かしていけるようにしてほしいです。

高木 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門	経済経営数学入門
コンピュータと情報	基礎演習 B	統計入門	

3年(男)	2人	3年(女)	1人	4年(男)	7人	4年(女)	4人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

(1) テーマ

日本とアメリカのデータを使ってマクロ経済学の基礎理論がどこまで有効か確認する

(2) キーワード

マクロ経済学 パソコン 統計分析

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年生

教科書：N・クレゴリー・マンキュー：『マンキュー入門経済学』、東洋経済新報社

ノートパソコンを全員に所有してもらいます。特に研究室では複数のゼミ員が同時にノートパソコンで作業することがあります。その作業結果をネットワーク上で共有し、修正作業を継続する必要があるため、後期が始まる前に一度集まってノートパソコンの利用法と基本ソフトウェア、ネットワーク環境を設定します。

後期開始後は、経済理論の入門である教科書の内容を、報告者がスライドと口頭報告用の原稿を用意して報告します。スライドには、教科書で利用されている図表を、見た目をお絵かきで再現するのではなく、理論的な説明に沿って数式化し、表計算ソフトを用いたグラフや表で再現します。章末の問題は報告時間の余りの範囲で報告者以外に解いてもらいます。

演習1以外に、3年次の理論分析の準備のために「データ分析Ⅰ・Ⅱ」を履修する必要がありますが、「ビジネスリサーチ」が前提科目であり、「ビジネスリサーチ」は「経済経営数学入門」が前提科目なので、まだ履修していない人は「経済経営数学入門」を先ず履修する必要があります。「統計入門」・「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ・Ⅱ」は卒業までに必ず履修してください。

3年生

教科書(予定)：R・J・ゴードン：『現代マクロエコノミクス』原著第6版上下：多賀出版

中級のマクロ経済学理論の教科書の内容を、ある章の分析と次の章の報告を平行しておこないます。

「分析」は報告された章に掲載されている、1980年代までのアメリカ経済のデータのグラフを、最新

の日米のデータを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論的な説明がどこまで当てはまるか確認するものです。

データを用いた検証はグラフの再現を超えてどこまでできるか、ゼミ生単独では範囲を設定できない場合が多く、前の週に報告された教科書の理論をどのような手法を組み合わせるかを細かく指導します。内容報告は2年次に習得した報告手順により実施します。

演習2以外では「統計入門」・「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ・Ⅱ」で取り残しているものの単位を取得してください。

4年生

毎週担当者を1名決めて3年生の分析内容を批判・評価します。批判・評価は単なる文言の修正でなく、「データ分析Ⅰ・Ⅱ」の知識を用いて新旧グラフの比較を超えた分析の可能性を指摘します。残りの4年生は当日までに担当者に章末問題を絡めたポイントを提示し、問題意識を共有します。3年次のテキストが終わっていなければ続きを行う場合があります。

卒業論文は、3年時の演習で行った分析の中から各自でテーマを設定します。テキストの記述から、対象範囲を拡げたり、理論をより精緻化したりして掘り下げ、「データ分析Ⅰ・Ⅱ」の手法を用いて結論を導くことを重視します。独自のアイデアや論考がなくとも、学んだ手法が駆使されていれば高く評価します。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・商社など一般的な事務系職種に就職していますが、IT系への就職も目立ちます。

(6) 教員について(自己紹介等)

日本経済全体の消費行動の理論構築と計量経済分析が研究テーマです。経済状況の変化に影響を受けて生じる、耐久消費財支出時期の理論的最適からの遅れをモデル化・検証しています。

性格は大まかで、論文に求められる緻密さは数学に依存しています。理論モデルを飽きずに延々とひねくり回したり、結果が中々出ないデータ分析をしつこく続けたりするのは大好きですが、ゼミ生の指導で細かいミスをほじくり返したり怒り続けたりする根気はありません。

(7) こんな学生に来てほしい

理論、モデル構築に必要な数学、データ分析の手法と学ばなければならない範囲は広いですが、理論の基礎から

学び直すので、改めてゼミからスタートしたい人でも大丈夫です。が、ゼミの準備に時間をかけないと達成水準は低くなるので、学ぶ意欲はしっかりと持って来てください。

単位の有無にかかわらず経済経営数学入門水準の数学と、統計入門水準の Excel 操作能力は必要です。

高橋克秀 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済統計の見方
コンピュータと情報	基礎演習 B	経済理論入門

3年男	3人	3年女	3人	4年男	人	4年女	人
-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

(1) テーマ

データ分析の基礎

(2) キーワード

ビッグデータ クラスタ 統計学 計量経済学

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

毎回担当者を決めてパワーポイントで発表する。個人のパソコンは必須。統計学検定の取得を勧めている。2 級合格者は就活市場で引手あまたとなる。毎年 2 名ほど合格している。合宿はやらない予定。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

12 月に行われる経済学部の懸賞論文に必ず応募すること。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

最近企業情報調査、IT、金融機関が多い。

(6) 教員について(自己紹介等)

新聞記者→エコノミスト→教員 世界遺産歩きが趣味

(7) こんな学生に来てほしい

このゼミでは統計学の基礎を学んだうえで、現実の経済・経営問題、社会問題（最近ではスポーツの統計分析も）を数値的に解析します。必要な勉強時間は週に少なくとも 4 時間くらい。夏休み、春休みも課題が出ます。卒論（ゼミ論）は必須です。 数学は得意である必要はありませんが、嫌いだといっていけなくなるかもしれません。勉強が好きな人に来てほしいと思います。

中泉 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		○

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門
コンピュータと情報	基礎演習 B	

3年男	10人	3年女	0人	4年男	12人	4年女	2人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ

役に立つ（応用力と実践力のある）**ミクロ経済学**を学ぼう

（とくに**ビジネス**あるいは**経営（戦略）**のための**ミクロ経済学**を学ぼう。学問分野としての名前は**ビジネス・エコノミクス**または**経営経済学**）

そして、**経済学的なセンス**を身に着けよう

そのために必要となる**数学**（微分など）を学ぼう（復習しよう）

教材を通して**英語力**（ただし読解力）を自主的に向上させよう

(2) キーワード

論理的かつ戦略的思考力と専門的基礎力に裏打ちされた自信
ともに学びともに成長

(3) ゼミの進め方

演習Ⅰ：関連する**ミクロ経済学**の初歩を中心に学び、土台固めをする。必要な微分などの**数学**の初歩も学ぶ。基本的には下記の主教科書の最初のほうにある Economics Primer :Basic Principles などを主な題材とする。

演習Ⅱ：原則、演習Ⅰをふまえ、主教科書等を題材に、「経営戦略の経済学」を発展的に学ぶ。

演習Ⅲ：**個別研究**とそれに基づく**卒業論文**の作成。

演習ⅠとⅡの主教科書

D. Besanko, D. Dranove, M. Shanley, S. Schaefer, *Economics of Strategy* 7th edition, John Wiley & Sons (英文教材はこちらで準備する)

演習Ⅱ（主に後半）では（経営学からみた）経営戦略論の本も主教科書とする予定。

たとえば（あくまで予定）

網倉久永・新宅純二郎著『経営戦略入門』、日本経済新聞出版社、2011年

- (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

（これまでは）とくになし。

- (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

とくに傾向はない。コンサル、IT 関連、商社、流通、不動産、旅行会社、ホテル・レジャー業関連、銀行、保険、証券、建設、メーカー、公務員、大学院進学など、多岐にわたる。

- (6) 教員について（自己紹介等）

専門分野は**応用ミクロ経済学**。とくに**産業組織論**（ 誤解をおそれずにいえば、この産業組織論を企業が上手に利用すると、ポジショニング学派の経営戦略論になる。それをみごとにやってのけたのが、マイケル・ポーターという学者。どんな人が調べてみてください！ ）と**医療経済学**。

- (7) その他

応募にあたって留意してほしいこと を書きます。

☞ **シラバス** も、きちんと読んでください。シラバス上、このゼミの**到達目標（の前半）**は、以下のようになっています。

「企業の経営戦略（企業戦略・事業戦略）に必要な経済学の初歩的な概念を説明でき、それらを使って実際の企業の経営戦略や産業組織を分析できるようになる。それらを踏まえ、より実践的な業界分析や戦略立案ができるようになる。」

うまくビジネスを成功させるには、**ミクロ経済学**的なセンス（ 経済的な諸関係に対する深い洞察力：たとえば簡単などころでは、自社がつける価格と自社製品に対する需要の因果関係はどうなっているか、少し複雑などころでは、ライバル他社の出方をどう読むかなどの**ゲーム理論**的視点 ）がけっこう役立ちます。しかし、**ミクロ経済学**の学習には、**抽象的な思考力** が要求されます。必ず、**ミクロ経済学**がどのような学問か、テキスト（私自身の著書を含め、たくさん、出ています）などを手に取ってしっかり調べ、**自分に向いているかどうか**、じっくりと考えてください。**「思ったのと違うゼミだった」ということがないようにしましょう！**

卒論を仕上げるまでがんばれる方の応募を望みます。

- ☛ 選考は、従来、「面接または試験」でしたが、今回は「課題レポート」によります。教員独自課題を大学の経済学部演習関係のホームページにアップする予定です。

中田 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
	○	○	○	

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	会計入門	簿記の基礎
コンピュータと情報	基礎演習 B	経営入門	

3年(男)	5人	3年(女)	5人	4年(男)	6人	4年(女)	11人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	-----

(1) テーマ：「財務会計」「国際会計」「企業分析」

会計をただ学ぶだけでなく、それらを用いて実際に企業を分析することで実践力を養います。全体としては会計・経営の知識を活用した企業分析に最も比重を置きつつ、会計理論や周辺領域の勉強もしつつ、外部コンテストなど会計以外のテーマにも取り組みます。

(2) キーワード：**「好奇心」**をもって**「真面目に」**かつ**「仲良く」**取り組みましょう。

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

①授業期間：

2年後期～3年前期までに、教科書(2,000円程度)3冊を用いて、財務会計・財務諸表分析、経営戦略、国際会計の基礎知識を身につけます。そのうえで、興味をもったテーマについてより深く学んでいきます。進め方は、担当グループが資料を準備し全体発表・質疑を行った後、発表に対するグループワーク・フィードバックを行う、という形式です。**卒論以外のほぼすべての活動は、グループ単位で取り組むこととなります。**また、合同ゼミやコンテストなど、大きなプロジェクトの直前には、ゼミの時間外に適宜、グループごとの個別指導も行います。

(参考：現3年生のスケジュール)

2年後期：企業分析①(財務諸表分析)、テキスト輪読①(財務会計)、テキスト輪読②/企業分析②(経営戦略)、外部コンテスト(※)、学内合同ゼミ ※昨年度：ちばぎん・はまぎん学生ビジコン
3年：企業分析③(経営分析+企業価値評価)、テキスト輪読③(国際会計)、外部コンテスト(神奈川産学チャレンジプログラム)、4大学インターゼミ、学内ゼミ成果発表会、学内合同ゼミ、『の～びのび経済』論文投稿
4年：卒業論文執筆

②サマセ・スプセ【※合宿を基本とするが、感染症のまん延状況次第で教室実施 or オンライン実施】

合宿は、主に企業を仮想経営する**「ビジネスゲーム」**を行います。関東近郊で行い、交通費込みで1回あたり3万円程度です。

③ゼミ外での学習活動：

⇒①のスケジュールを参照してください。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3年後期に行う他大学との合同ゼミの報告と学内ゼミ成果発表会での報告について、論文調に整え、グループ論文形式で『の～びのび経済』（学内誌）に投稿してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

中田ゼミは創立9年目で、卒業生は7期生まで出ています。就職先は、金融業（証券、地銀、信金など）とIT関連業（会計・金融のシステム）がやや多いですが、その他は、業種・職種はさまざまで特段の傾向はありません。

(6) 教員について(自己紹介等)

研究は、財務会計理論・国際会計に関するテーマが主です。性格はマイペースで、座右の銘は「蓼（たで）食う虫も好き好き」。何事も拒まずに、まずは受け入れる姿勢が肝心と思っています。趣味は、音楽鑑賞（特にメタル）、ドライブなど。聞きたいこと・相談ごとがあれば、気軽にメールで連絡ください。

(7) その他

①複数学年・連コマでのゼミ

先輩・後輩間の交流を深め、また学習内容を深める目的で、**複数学年合同・連コマ**でゼミを行っています。2021年度後期は、金3限：4年卒論指導、金4限：3・4年ゼミ、金5限：2・3・4年ゼミ、金6限：2・3・4年ゼミ、といった形でゼミを行う予定です。（2年生については、必修の英語が当該時間に入っている場合などは、個別に配慮します。）

このように、**毎週2～3コマ連続でのゼミ参加**が前提となりますので、注意してください。

②課外活動（飲み会・食事会）

現在はコロナ禍で実施していませんが、普段は懇親会も随時開催しています。OB会、4年生卒業パーティーのほか、全体での懇親会も半期に1～2回程度あり、その他月に1～2回ほど、有志による少人数での懇親会（教員もほぼ参加）を行っています。

③ゼミ選択について

ゼミは、サークルやアルバイト以上に大学生活の軸となり、卒業後も関係の続く活動です。ゼミを選ぶ際には、自らの将来を考えるとともに、各種情報源をフル活用して必要な情報をつかんでおきましょう。

（※学生目線の情報は、学生委員会作成のゼミ紹介冊子やゼミ紹介動画を参照してください。）

野村ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	情報化社会と市民(共通教育シテ ィズンシップ科目)
コンピュータと情報	基礎演習 B	

3年男	9人	3年女	3人	4年男	8人	4年女	8人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

1. テーマ

メディア・アクセシビリティとコミュニケーション・デザイン

(2) キーワード

メディア・アクセシビリティ、コミュニケーション・デザイン、障害、デザイン思考、感情、インクルーシブデザイン

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

野村ゼミでは「基礎から応用へ」という学習方法を取らない。雑誌や書籍の編集者のように、まずテーマ設定があつて、それについてメディア制作するために必要な勉強をしていくスタイルを取る。たとえば月刊誌の総特集を組むときのように、企画を実現するために必要と考えたことを調べ読んでまとめ直す。なのでゼミ自体はずっと編集会議スタイルになる。「いきなり応用、必要に応じて知識を学ぶ」スタイルである。これを認知科学では正統的周辺参加という。なので「来週までこの本を読んでこい」というような事態は頻繁にあると覚悟しておいてほしい。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

・作品を作りながら学ぶスタイルなので、卒業論文以外にウェブ記事をたくさん書く。卒業までに 100 本程度の単発のウェブ記事（写真付き）を書くか、それ相当の公開用ラジオトークをしてもらう。私が「現場の写真を撮ってこい」と指示して「5枚撮ってきました」ということがしばしばあるが、その場合に私が要求しているのは 100 枚以上である。本音は 500 枚。そうでないいいものを選べないしスキルもアップしない。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

意外に経済学部標準だと思う。2年生にもわかる企業名を挙げる。本人がすでに転職した会社も含む。金融系：みずほ銀行、三井住友信託銀行、東京三菱UFJ銀行、大和証券、日興証券、千葉銀行、沖縄銀行、ゆうちょ。交通系：JR 東日本、全日空（地上）、近畿日本ツーリスト。製造業：IHI（石川島播磨重工業）。公務員：航空自衛隊（管制官）、地方自治体。郵政。不動産：東急リバブル。IT 系：電通国際情報サービス、ソ

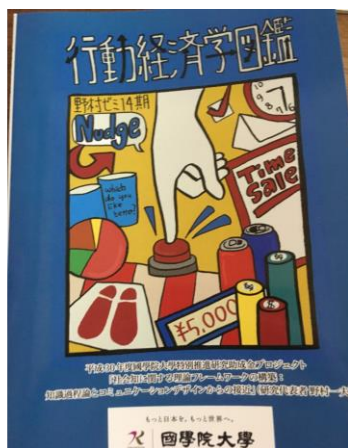
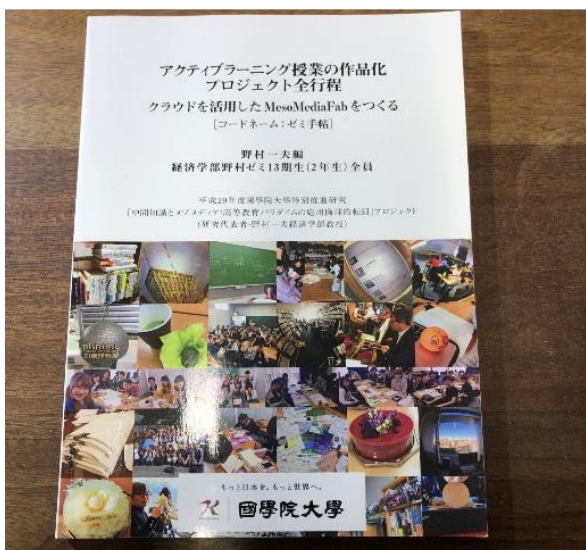
フトバンク本部、LINE@、NEC 系、キャン系。メディア系：九州電通、モリサワ、共同印刷、新潟放送、福島民報新聞、北國新聞、デイリースポーツ、チケットぴあ、メトロアドエイジェンシー、東北新社、制作プロダクション。教職：神奈川県立高校情報科教員（大学院経由）、東京都公立中学校美術科教員（美大編入して大学院経由）

(6) 教員について(自己紹介等)

社会理論、情報メディア論、知識理論。ネット系なので検索してほしい。SNS は@nomurakazuo か@socius.nomura でやっている。著作はソキウスで公開中。<https://www.socius.jp> 新カリには私の講義科目がないので旧カリの講義録画を見てほしい。昨年度分はすべて <https://www.econorium.com> に公開してあります。

(7) その他

ネット系なのでスピードと量とリスポンスが大事。要求するレベルはそれほど高くないが桁違いの分量を猛烈なスピードでこなす。スロースターターやゼミ活動をメインにできない人はしんどいと思う（同情はしない）。令和2年度のゼミの成果は <https://transmedia.tokyo.jp> に集約してある。野村ゼミ総会として昨年度のまとめを8時間ラジオマラソンとしてYouTube ライブでおこないました。録画はここにあります。 <https://youtu.be/1VPysG9wpCM>



橋元 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○	○	○	○

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	現代日本経済
コンピュータと情報	基礎演習 B	

3年男	7人	3年女	0人	4年男	7人	4年女	3人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

- (1) テーマ 日本経済の構造と企業経営および雇用の特徴
- (2) キーワード 日本経済・企業経営・雇用を学ぶ、学年合同で学び合う、自分の意見を持つ
- (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年次の夏合宿(演習Ⅰサマセ)から始まり、4年次演習Ⅲ(卒業論文)Bまでの演習(ゼミ)

関連科目 20単位すべてを履修するゼミです。夏合宿と後期ゼミは2~4年生合同であり、春合宿と前期ゼミは3~4年生合同です。授業期間中のゼミは2コマまたは3コマ連続です。月曜4限~6限に参加できない人は応募できません。

ゼミの全体概要は、以下の通りです。

- ①日本経済関連の文献を輪読(分担してレジュメを作成・発表、全員で論点を議論)

教科書はゼミ生の希望を踏まえつつ決めるが、2年次は初歩的入門的文献、3年次前期は基礎的文献、3年次後期から4年次は基本的文献を教材としている。先輩が後輩の報告準備や発表をサポートし、教え教えられる関係の中で学び合う。

- ②ディベートやディスカッションを行う。

日本経済をめぐるテーマばかりでなく、身近な問題から時事問題など様々なテーマを取り上げ、輪読と並行してディベートまたはディスカッションを行う。これらを通じて、論理的思考力やプレゼンテーション能力、表現力を鍛え、また就職活動にも有用な能力を身につける。

③3年次には12月のゼミ成果発表会に取り組む。

日本経済に関する具体的テーマを自分たちで決めゼミで研究し、その成果を発表

④ゼミ卒業論文を作成する。

2年次春合宿から合宿のたびに中間報告を行い、4年次11月に一次提出し1月上旬に最終提出する。ゼミでの集団的な検討や橋元による個別指導を継続的に受け完成させていく。

⑤ゼミ生で話し合い企画して各種イベントを実施する。

例年行っているのは、新歓コンパ、前期終了後の暑気払い(コンパ)、OB・OGによる面接指導会(模擬面接)、OB・OG懇親会、追い出しコンパである。他に、工場見学、忘年会、新年会、ボーリング大会などのスポーツ・レクリエーション、ゼミ後の飲み会等、年度によって様々であり、ゼミ生で話し合っ

って決める。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など) なし

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融(三菱UFJ、みずほ、城南信金等)、情報サービス(SCSK、富士通Japan等)、メーカー(LIXIL等)、不動産(イオンモール等)、広告(電通等)、公務員、教員など、様々な分野へ就職しています。

(6) 教員について(自己紹介等)

1955年鹿児島県生まれ。横浜国立大学経済学部、東京大学大学院経済学研究科で学ぶ。
(財)労働科学研究所を経て、92年から國學院大學経済学部教員、99年より教授。担当科目
は、「現代日本経済」、「日本経済と政策」、「雇用と働き方」、「キャリア開発」など。専門分野は、
労働市場、人事労務管理や労使関係の実態調査に基づく日本経済分析。全国各地の自治体や
経済団体および企業・労働組合のインタビュー調査やアンケート調査を行ってきました。

学生諸君には、大学で自分らしさを探求し、自分らしく生きていくために必要な知恵を身につけてほ
しいと願っています。ゼミはそのための絶好の場。私もゼミ生と一緒に誠実で真剣なぶつかりあい
をしていきたいと思っています。酒は弱く、無趣味人間です。あえて言えば、議論好き。多芸多才にあ
こがれますが、そのセンスはまるで駄目なので、ゼミ生達にいっぱい教えてもらっています。

(7) その他

ゼミの場にいるだけではダメ！ 自ら能動的に学ぼうとする意欲をもつ者、ゼミで多くを吸収し自分
もゼミに貢献しようと努力する者、授業としてのゼミを越えた仲間づくりや交流を大切に思う者を求め
ます。ゼミは、ゼミ生自身が創り上げるもの。学ぶこと、遊ぶこと、先輩・友人との交流など、いくらでも
広く深いものにすることができます。しかも、生涯にわたって続く関係の出発点です。入ゼミ希望者に
は、2年半しっかり学ぼうとする姿勢をもち、ゼミ卒業論文をやり遂げ、意欲的に発言することを期待
しています。自分に合っているかどうか、見学してよく考えて応募してください。

2019年8月入ゼミ新歓



2020年3月春合宿



サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○	○		

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経営戦略
コンピュータと情報	基礎演習 B	経営入門

3年男	5人	3年女	9人	4年男	4人	4年女	10人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----

(1) テーマ

経営戦略論・組織論の学修と応用

(2) キーワード

戦略論, 組織論, イノベーション, マーケティング

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

企業経営に関連した社会現象を自分なりに分析し、説明できるようになるために、多様なフレームワークの学修と具体的な事例分析を両輪としたゼミナールを開催する。

経営学は実学としての側面が非常に強い学問である。この分野を学修する目的の一つは、現実の社会（とりわけ経営に関する社会現象）の動きに対して自分なりの読みを生成できる実務家になることといっても過言ではないだろう。そのためには、理論を学び、実際にそれを使って現象を分析し、さらにフィードバックを受けるという理論と現実の往復運動が必要である。本ゼミナールでは経営学的な力量を身に着けるために、この一連のプロセスを行う機会を提供する。

2年次には、とっつき易いけれども深く読むのは難しい書籍を読み、戦略論や組織論、マーケティングといった関連領域の理論・フレームワークを使って事例を分析する、という2つの課題に取り組んでいく。詳細についてはシラバスを確認すること。事例分析では主にメーカー、外食等サービス業、コンテンツ系の産業を分析することになるだろう。

2年次後半から3年次も基本的には書籍を読み、理論を使ってみて力量を高めるというスタンスに変わりはない。ただし、読む本の難易度はやや高くなる。また、3年前期には「神奈川産学チャレンジプログラム」への参加、3年後期には懸賞論文への論文投稿やゼミ成果発表会への参加など、研究成果を対外的に公表する機会が増えることになる。これらを通じて理論と現実の相互理解を深めながら、4年時には卒業論文の執筆を行う。

正規授業以外の予定としては、夏に3泊の合宿（2・3年次のみ）、懇親会（月1回）を予定している（こちらは今後のCOVID-19の状況次第）。また、2年次の春休みにも2週に1回のペースでゼミを行う。さらに、11月頃にはOBOG会を実施する予定である。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習Ⅰの半ばから、事例分析をレポートにまとめていくプロジェクトに取り組む（3年次の6月頃；A4で20枚-30枚程度）。演習Ⅱでは神奈川産学チャレンジプログラムもしくは学外のビジネスコンテスト（3年次の10月；A4で10枚程度、発表用プレゼン資料の作成）、懸賞論文への論文投稿（3年次の12月；A4で20-30枚程度）、ゼミ成果発表会（3年次の12月；プレゼン資料で20枚程度）などに参加する。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

不動産、生命保険、専門商社、製薬、公務員、家業の承継、小売り、コンサル、SE等

(6) 教員について(自己紹介等)

2016年着任。授業は、経営戦略論・組織論を担当（2020年度はサバティカルのため担当科目無し）。現在は、映画製作・配給・上映という巨大なシステムを対象として、大規模な技術システムが変化するときどのような経営上の問題が生じ、それが解決されていくのかを歴史的に研究している。また、同時進行でeスポーツにおけるコミュニティの役割に関する研究もやっている。

個人的なこととしては、趣味は比較的多く、はまったらとことんやり込むマルチジャンルオタク。

オフィスアワーに私の研究室にきてくれれば、研究や勉強、就職活動の相談、授業に関する質問だけでなく、（時間があれば）雑談なども歓迎する。

(7) その他

①コマについて

複数学年合同で開催する。公開されている開講時間の前後1コマには授業を入れないようにすること。原則として2コマ連続で参加することが前提となる。ただし、必修などは仕方ないので、事前に相談してほしい。また、無単位残業（3コマ目：7限）も頻繁に生じるブラックゼミである点に注意。

②ゼミのスタンス

ゼミナールは、大学生活で最も優先しなければならない活動である。アルバイトやサークル活動、旅行、就職活動、帰省、デートなど学生にはやらなければならないことが多く存在しているが、ゼミナールはこれらに優先される。それは、ゼミが大学における学修の中心的な位置づけであると同時に、ゼミと一緒に学ぶ仲間や教員との交流は一生続いていくものだからである。

特に私のゼミでは、それなりに難しい書籍をかなりの準備時間をかけて読んできてもらい、高い水準のレジュメの提出を要求し、それに対して教員も厳しく指導していく。また、レポート課題もそれなりの分量を課される。そのため、生半可な気持ちで受講するのはやめておいた方がよい。しかしながら、学生諸君が努力した分だけ成長できるよう教員も全力で指導するので、厳しいゼミでしっかり学びたいという意欲のある学生は是非受講してほしい。

以上のスタンスに同意できない者の受講は認められない。

③その他

より詳しいことは公開ゼミや教員の研究室に来て教員に尋ねるか、あるいはゼミ生に直接聞くのがよいだろう。なお、飲み会の場等で煙草を吸う場合は、外に出て吸うこと。また、アルコールの強要等を行うことは固く禁止する。

細井 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	
コンピュータと情報	基礎演習 B	

3年男	2人	3年女	2人	4年男	1人	4年女	2人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

「グローバル・エコノミーとビジネス—新興国市場攻略の戦略」

国際経済と国際経営の分野で各自が関心をもっているテーマを個人で深めていくことがこのゼミのスタイルです。現3・4年生はアフリカやラテンアメリカ経済、ダイバーシティ経営、海運、国際観光といった関心領域を各自もっています。

(2) キーワード

国際経済 途上国経済 国際経営

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期は統一テキスト(英語文献)を用いて、3年以降に備え基礎知識の定着、読書習慣の確立、文献の探し方などアカデミック・スキルの涵養を図ります

2年と3年間の春休み(3月下旬)に春合宿を行い、3年以降のゼミ活動の基礎を作ります(スプセの形ではない)。3・4年合同2時間連続で行います。3年以降のゼミについては自分たちで進め方を決めてもらい、個人のテーマも自分で設定することになります。ゆえに「与えられた」課題をきちんとこなすこと「だけ」が得意な人は向いていないと思います。参考までに今年前期の場合は、1時間を卒論に向け各自が関心をもっている分野についての専門書を読んだ上で報告・討論を行い(3年前期はリーディング・アサインメントに従って進める)、もう1時間でビジネス・ケース討論を行っています。

夏休みにはゼミ合宿を行います。後期は両学年共に卒論に向けた報告が中心になります。そして、4年の終わりには卒論を書き上げます。

なお、夏合宿は国外で実施します(3年と4年の2回)。現地では関係機関、企業、援助団体など訪問・視察を行います。机上の勉強だけではなく、実際に経済・経営の現場を自分の肌で実感する貴重な機会です。今夏もコロナによる渡航制限で行けなさそうです(直近は2018年ホー・チ・ミン、2019年デリー)。現地での企業訪問は貴重な経験になります。手配等はすべて自分たちで行ってもらいます。コロナで行けない年が2年続いてすぐ上の人に経験を聞くことができず、ビジネスマナーを体得し自ら開拓する気構えが必要です。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

3年終了時に10,000字程度の3年次論文を提出してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

就職率 100%を初代から継続中です。業界は様々。珍しい就職先としては、政令市中学校の社会科教員(経済学部では何年に1人の現役合格)や、一般企業就職後に公認会計士の資格を取得して4大監査法人に転職したOBがいます。好況時には他の陽キャばかりのとあるゼミのように目立ちませんが、不況時にも安定・確実に就職を決めています。日々のゼミに対する姿勢が結果につながります。

また、毎年秋にOB会があり色々な話を聞くことができるとともに(OB会だけでなく随時、顔を出してくれたりします)、タテのつながりも強めています。卒業後もOB会があり、現役ゼミ生のサポート、また学年を超えて交流があり、「大人のゼミ合宿」をしたりしている代もあります。こういうことが嫌いならば、他のゼミに行った方がいいでしょう。

(6) 教員について(自己紹介等)

2006年に着任、担当する授業科目としては「世界経済入門」、「国際経済」、「国際経営」などです。

(7) その他

・日本でも星野リゾートのように喫煙者の採用をしない企業が増えてきています。こうした状況に鑑み、選考の際、喫煙者のプライオリティは最下位にします(なお、2010年にこの方針を打ち出して以降、これまで喫煙者でこのゼミに合格した人はいないことを申し添えます)。

・卒業までに「国際経済」、「国際経営」の単位は必ず取ってもらいます。両科目を取れない場合、ゼミをクビになります。また、卒業までの2年半を継続して取り組めることも条件とします。OB会でゼミOBが「ゼミ程度のことをきちんとやれない(継続できない)ような人が社会(会社)に出てきちんとやっていけない」とよく言っています。着任して10年以上たち、ようやく途中で辞める人が出なくなってきました。また、他ゼミで行うようなゼミ合宿ではない形の合宿が3年と4年夏の2回あります。その点も承知してください。(今後、海外渡航にはコロナワクチンの接種が必須となるはずですが、ワクチンについて色々な考えがあるでしょうが、海外渡航があることは了承しておいてください。)

・個人テーマの設定は自由ですが、それに取り組むにあたっての基礎は重視しています。筋トレをしっかりやります。つまらないかもしれませんが、スポーツ選手で筋トレを疎かにする人はいないですよ。基礎演習のようにグループワークで上辺だけの「勉強ごっこ」をするスタイルではないので、そういうスタイルを好む場合はこのゼミには向きません。しかし、しっかり取り組むと自分自身が何倍も成長して卒業できることは間違いなく、それが不況時でも安定した就活の結果につながります。

・提出書類について:1次選考の第1希望の人はKスマアンケート機能の「2志望理由」を書く必要がありません。空白でかまいません(空白がエラーになるなら「あ」とだけ入力してください)。「入りたいから」以外の理由がありますか? 面談日程を決めるための「2年前期の時間割(様式任意)」とKスマから印刷(PDF化)した「1年次成績」の2つのファイルを5月21日(金)正午まで細井宛メールで送ってください。折り返し、面談日時をメールします。1次選考第2・3希望(2次選考)の人はKスマアンケート機能1と2両方記載のうえ、時間割と成績表に加えてTOEIC等のスコア表を6月7日(月)正午までにメールで送ってください。このゼミでは英語文献を用いるため、このゼミを第1志望とする人以外には能力の確認の意味でこのやり方を取らせてもらいます。TOEICやTOEFL等のスコアをもっていない場合は、英語のセンター試験の点数など何か客観的な指標を出してください。同様に面談日時を返信します。3次選考の場合は7月2日(金)正午までに2次選考と同様の書類をメールしてください。



山本 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	地域と都市の経済
コンピュータと情報	基礎演習 B	

3 年男	6 人	3 年女	4 人	4 年男	3 人	4 年女	3 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

経済活動を「地域」という空間的枠組みの中で考える。

(2) キーワード

経済地理学, フィールドワーク, 地域

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

論文の輪読による基礎的な思考法や手法の習得と, 個人テーマに沿ったフィールドワークと報告書の作成を想定しています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

2 年次に論文踏査を始め, 3 年次には当該分野の研究動向についてレビュー報告（2000~4000 字程度）を作成する。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

鉄道, 建材, アパレル, テレビ番組制作など。対面接触や地方を好む傾向があります。

(6) 教員について(自己紹介等)

山本健太 検 索

(7) その他

ゼミとは, 単に勉強するところではなく, 社会関係も学ぶ場であると考えています。このゼミに入るとことは, 私に弟子入りすることだと思ってください。

バイト, 部活, サークルはゼミ欠席理由として認められません。ゼミでの活動を最優先事項として, 他のゼミ生と協調し, 積極的に参加してください。

『令和3年（2021年）度開講「演習Ⅰ」（ゼミ）募集要項』

二次募集

國學院大學 経済学部教務委員会

WEBでもCHECK!

國學院大學経済学部

検索

